Panasonic®

# 施工説明書

## 住宅用照明器具（ひとセンサ付ポーチライト）

施工説明付き

**品番 LWC86463BK LWC86463SK**
（オフブラック）（シルバーグレーメタリック）

**お客様へ** 器具の施工には電気工事士の資格が必要です。必ず、販売店、工事店に依頼してください。

**工事店様へ** 施工の前によくお読みのうえ、正しく施工してください。この説明書は必ずお客様へお渡しください。

上手に使って上手に節電

## 安全上のご注意 （必ずお守りください）

人への危害、財産への損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
**■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

| | |
|---|---|
| ⚠ 警告 | 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。 |
| ⚠ 注意 | 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。 |

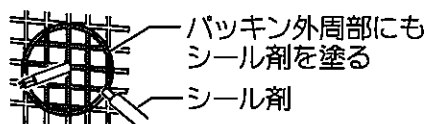
**■お守りいただく内容を、次の図表示で説明しています。**

| | |
|---|---|
| ⃠ | してはいけない内容です。 |
|  | 実行しなければならない内容です。 |

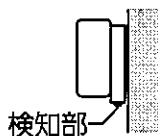
## ⚠ 警告

**必ず守る**

**■器具の取り付けは、施工説明書に従い確実に行う**
取り付けに不備があると火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

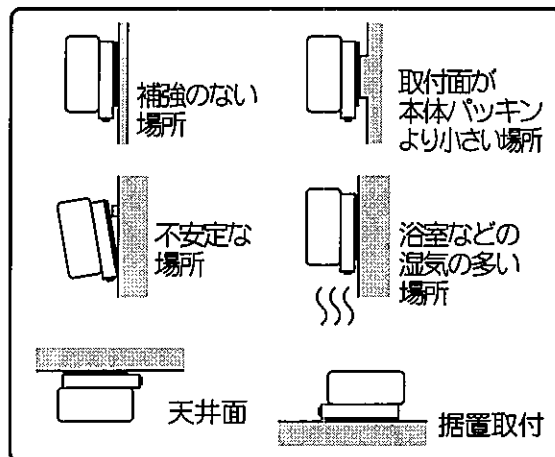
**■取付面と本体パッキンのスキマおよびパッキン外周部にシール剤を塗る**
本体パッキンと取付面とのすき間を防水シール剤などで埋めてください。

**●防水が不完全な場合、火災、感電のおそれがあります。**

**■検知部が下になるように取り付ける**
浸水による感電のおそれがあります。

検知部

**■交流100ボルトで使用する**
過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。

**■電源線は端子台の差込み穴の奥まで確実に差し込む**
差し込みが不完全な場合、火災、感電のおそれがあります。

**禁止**

**■次のような場所には取り付けない**
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

**●この器具は壁面取付専用防雨型です。（防湿型ではありません。）**

**アース線接続**

**■接地工事は、電気設備の技術基準にしたがって確実に行う**
接地が不完全な場合、感電のおそれがあります。

# ⚠注意

必ず守る

■**付属の梱包材は取り除いて使用する**
そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。

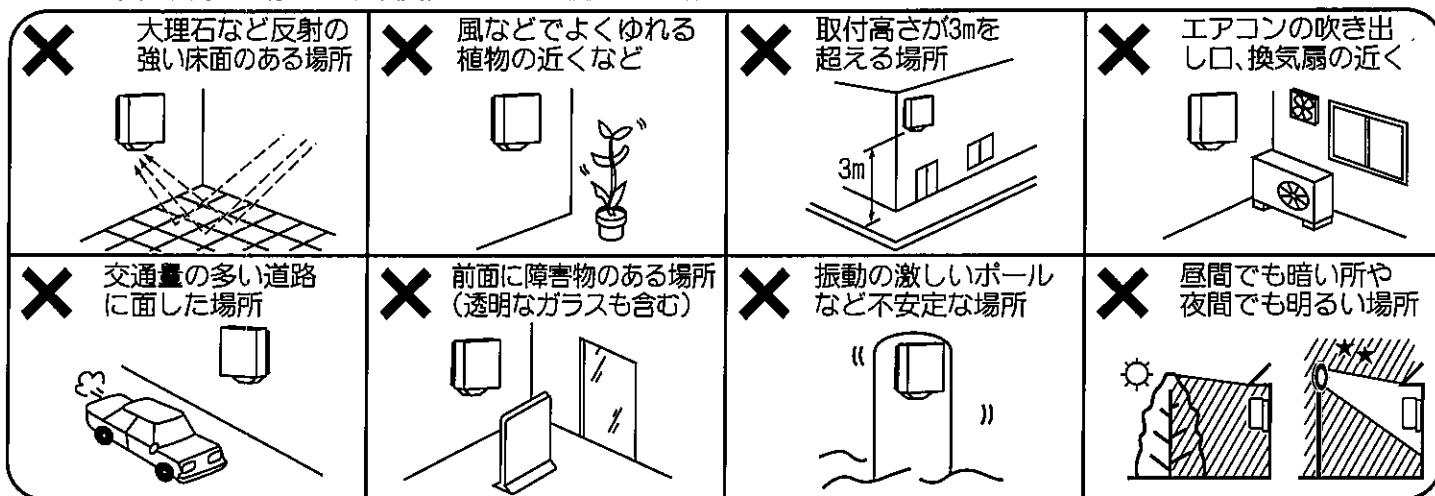
禁止

■**他の調光器と組み合わせて使用しない**
調光機能が付いた壁スイッチなどと組み合わせて使用すると、火災の原因となることがあります。
●**調光器の取り外しが必要です。**

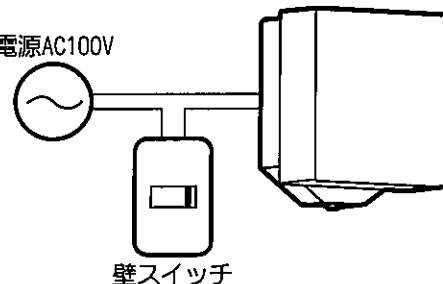
■**温度の高くなるものの上に取り付けない**
火災の原因となることがあります。
●**ガス機器や排気筒の上に取り付けないでください。**

## 施工前にお読みください

### 設置場所についてのご注意

●**次のような場所には取り付けないでください。**
この器具は、周囲の明るさと温度変化をセンサで検知して動作するため、以下のような場所に取り付けると誤動作の原因となります。

●一般屋外仕様ですので、海岸隣接地帯では、塩害により短期間で錆が発生するおそれがあります。

### 配線についてのご注意

●必ず壁スイッチを設けてご使用ください。(スイッチは別途ご用意ください)
・連続点灯への切り替え操作ができません。
・センサによる点灯モードに異常が発生したとき、リセットできません。
●壁スイッチは器具1台につき1個設置してください。複数台を1個のスイッチに配線すると、点灯状態にバラツキが発生するおそれがあります。
●壁スイッチにパイロットスイッチを使用すると、壁スイッチがONの状態でも照明器具が消灯状態(センサ待機状態)のときは、パイロットスイッチ表示が点灯しない場合があります。(故障ではありません)
●通常は壁スイッチをONにした状態でご使用ください。

電源AC100V
壁スイッチ

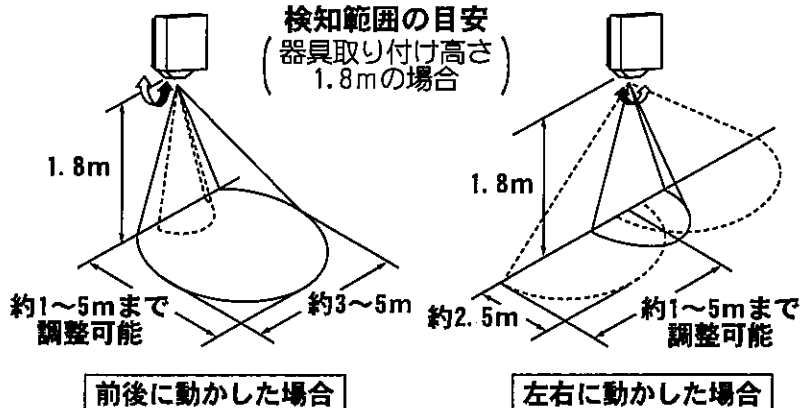
### センサの検知範囲

●センサの検知部を動かして、検知範囲を調整できます。
(センサの検知部は全方向に約20度動きます。)
●器具の取り付け高さ1.8m(標準)~2.5mの間では、検知範囲は変わりません。

**ご注意**
・この器具のセンサは、熱源の温度変化を動きとしてとらえます。そのため、動物・自動車など人以外の動きも検知して点灯する場合があります。
また、静止状態の人などは検知しない場合があります。
・検知範囲は気温、服装、移動速度、進入方向、体温、器具の取り付け高さや傾きなどにより変化します。
・夏場など、気温が体温に近い状態になると、温度変化が小さいため検知しない場合があります。
・センサの性能上、器具に向かってまっすぐ近づいた場合、器具の近くまで近づかないと検知しないことがありますが、器具の故障ではありません。

**検知範囲の目安**
(器具取り付け高さ1.8mの場合)

1.8m
約1~5mまで調整可能
約3~5m
**前後に動かした場合**

1.8m
約2.5m
約1~5mまで調整可能
**左右に動かした場合**

### 調整ツマミの設定について

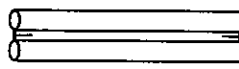
**この器具は取り付け後、ご使用の環境に合わせてセンサの検知範囲、調整ツマミの設定が必要です。**
**必ず、4ページ「検知範囲と調整ツマミを設定する」をお読みのうえ、設定してください。**

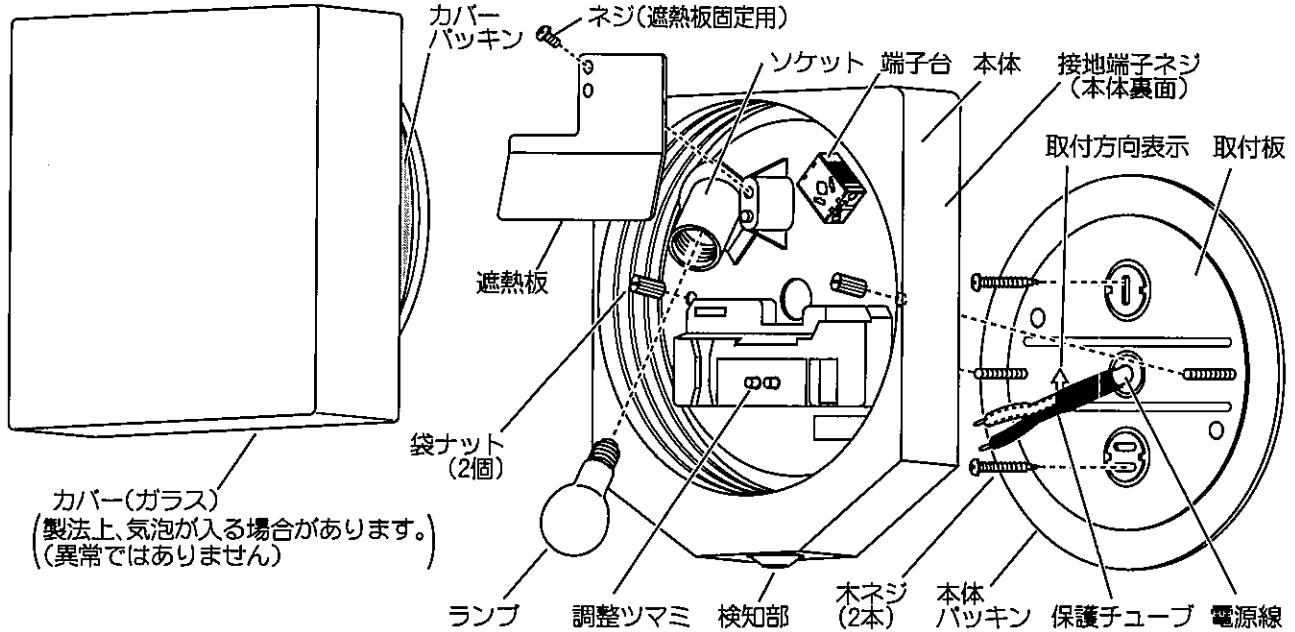
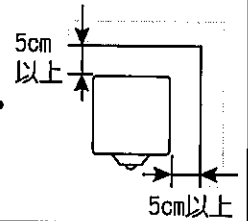
# 各部のなまえと取り付けかた　安全のため、電源を切ってから行ってください

**取り付け前の準備**

・下の展開図の状態に
　分離してください。

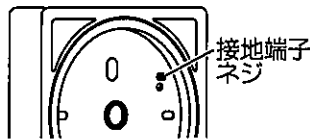
付属部品

**施工する前にまず付属部品を
ご確認ください**

**天井面、壁面から
5cm以上離して
取り付けてください。**

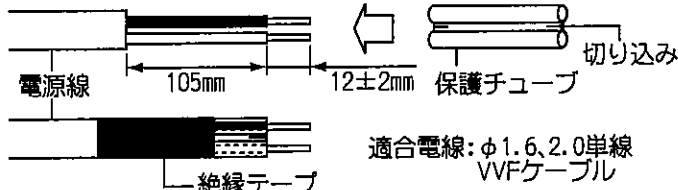
指定距離より近いと
カバーの着脱が
できません。

## 1 付属の木ネジ(2本)で取付板を取り付ける

・取付ピッチ：66.7mm, 83.5mm
・取付方向表示の方向に従って、取り付けてください。

## 2 接地工事を行う

本体裏面の接地端子ネジから
D種(第3種)接地工事を行う。

## 3 袋ナット(2個)で本体を取り付ける

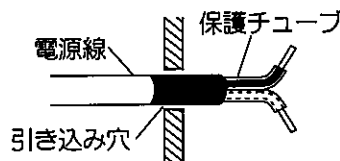
## 4 電源線に付属の保護チューブ(1セット)を差し込む

・電源線に保護チューブが通るよう加工する。
・保護チューブを必ず電源線に差し込む。
・VVF外被と保護チューブに絶縁テープを巻きつける。
　注)器具取付状態で、壁面の内側に保護チューブが
　　入り込む場合は、壁面の電線出口の位置まで
　　絶縁テープを巻きつけてください。

**確認**

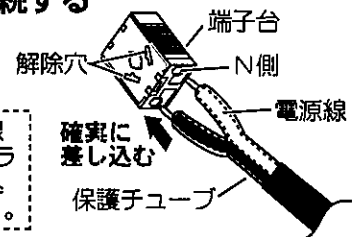
保護チューブは、壁面の
電源線の引き込み穴に
入るように取り付けて
ください。

⚠警告

**保護チューブを切断しない**
火災、感電のおそれがあります。

**保護チューブを必ず電源線に差し込む**
取り付けない場合、
火災、感電のおそれがあります。

## 5 端子台に電源線を接続する

・施工しにくい場合は
　保護チューブを裂いて
　ご使用ください。

器具の取り替え等で電源線
を外す場合は、マイナスドラ
イバー等を解除穴に差し込
みながら電源線を引き抜く。

## 6 ネジで遮熱板を取り付ける

## 7 ランプを取り付ける

## 8 検知範囲と調整ツマミを設定する(次ページ参照)

(次ページ参照)

・カバーを取り付ける前に必ず行ってください。

## 9 本体にカバーを取り付ける

・カバーにカバーパッキンが取り付いていることを確かめ、
　確実に締め付けてください。
・カバーを最後まで締め付けた後、本体に合わせて少し
　戻してください。
　(90度以内)

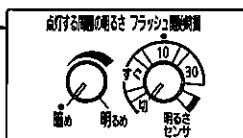
⚠注意

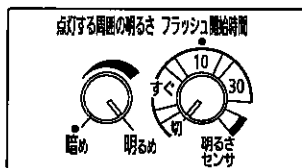
**カバーは確実に締め付ける**
不完全な場合、感電、落下による
けがの原因となることがあります。

## 検知範囲と調整ツマミを設定する　昼間でも設定できます

**設定の前に**
**①壁スイッチをOFFにする**
**②カバーを取り外す**

## 1 センサの検知範囲を調整し、点灯確認をする

**出荷時の設定**

**[手順]**

**①あらかじめ、調整ツマミを以下の設定にする**

点灯する周囲の明るさ ―― 「明るめ」（右いっぱいに回す）
フラッシュ開始時間 ―― 「切」（左いっぱいに回す）

**②検知部を動かし、設置場所に合わせて検知範囲を調整する**
- 検知部は、全方向に約20度動きます。
- センサの検知範囲は、☞2ページ「センサの検知範囲」をご参照ください。

**③壁スイッチをONにし、センサの検知範囲の外に出る**
➡ 約40秒間点灯してから消灯します。

消灯しない場合は以下の原因が考えられます。
- センサの検知範囲に入っている　⇒ センサの検知範囲から外に出る
- 連続点灯になっている（検知部が赤く光ったまま）　⇒ 壁スイッチを一度OFFにし、5秒以上おいて再び壁スイッチをONにする

**④消灯したら器具に近づいて、点灯することを確認する**
- センサの検知範囲の外に出てから約5秒後に消灯します。

## 2 いったん壁スイッチをOFFにして 使いかたに合わせて調整ツマミを設定する

以下の4種類の使いかたができます。（詳しくは ☞取扱説明書3ページ）

| 使いかた | 防犯すぐモード | 防犯設定時間後モード | ON／OFFモード | 明るさセンサモード |
|---|---|---|---|---|
| 動　作 | 人が近づくと すぐに フラッシングします | 人が近づいてから 10秒後または30秒後に フラッシングします | 暗くなって、人が 近づいたときに点灯 | 暗くなったら点灯 明るくなったら消灯 |
| おすすめの ツマミ設定 | | | | |
| 詳しい 設定方法 | ☞取扱説明書4ページ | ☞取扱説明書4ページ | ☞取扱説明書5ページ | ☞取扱説明書6ページ |

## 3 カバーを取り付ける

☞ 3ページ「各部のなまえと取り付けかた」参照

## 4 壁スイッチをONにする

➡ 壁スイッチをONにした直後は、周囲の明るさに関係なく、約40秒間点灯します。

パナソニック株式会社　インテリア照明ビジネスユニット
〒571-8686 大阪府門真市門真1048